



灯台

学 校 通 信

NO.145

令和2年12月14日
青森県立大間高等学校

極北に学舎は立つ

校長 森 田 勝 博



今年の修学旅行は、説明会にたくさん保護者の方に来ていただき、実施の方向で準備してきたにもかかわらず中止せざるを得ませんでした。ウイルス相手の苦渋の決断とはいえ、斬鬼の念に堪えません。あらためてお詫び申し上げます。

修学旅行はただの旅行ではない

さて、その修学旅行ですが、学習指導要領には「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むこと」とあります。感性豊かな青年期に、同級生や教員と行動を共にし、同じものを食べ、見学し、体験して得られるものは一生の思い出です。引率教員にとつても、安全のため二十四時間緊張して共に過ごし、行く先々で教室では見られない生徒の良さに気づかされ、「この生徒たちと卒業まで頑張ろう」と決意するものなのです。昨今、修学旅行を単なる旅行と捉える向きもあるようですが、日本の学校教育では、通過儀礼ともいえる大切な行事なのです。

千年の仕事とは

さて、修学旅行で定番の薬師寺に生徒を引率するとき、必ず話してきたことがあります。それは、法隆寺の宮大工棟梁、西岡常一さんの言葉です。棟梁は、建立から約千三百年を生きてきた薬師寺東塔を調査研究し、全く同

じものとして西塔を再建（※昭和五十六年、私が高校生の時）しました。しかし、両方を比べてみればわかりますが、基壇の高さは約八十センチ、塔の高さでは約三十センチ、西塔が高くなっています。棟梁曰く、今後、塔の重さで基壇が沈み、部材の檜（※樹齢千五百年から二千年のヒノキ）も縮み、五百年後、ようやく同じ高さになるとのこと。当時は、こんなお話もしていました。「大きな地震や台風を経て千年の後、この塔が東塔と並び立つときに私の仕事 completes します。そうでなかつたら、飛鳥の大王に笑われます。」そういえば、弟子の小川三夫さん（※修学旅行で法隆寺の五重塔と出会い、宮大工を目指したそうです。）も先ごろの東塔大修理の時に「百年後、二百年後の大修理の時に、『平成の大工はこんな仕事をしてたのか。』と言わないようにしっかりとやっている。」と話されていました。千年を生きる堂塔の前だからこそ学ぶことのできる深い重みのある話ではないでしょうか。

極北に学舎は立つ

近年は、薬師寺に行くたびに「私も再建当時の棟梁の歳になりました。しっかりと立っていますね。ありがとうございます。」と薬師三尊に手を合わせます。一方、私の大切な仕事の学校教育ですが、間もなく本校は五十周年を迎えます。そして百周年は・・・さすがに私もこの世にサヨナラしているでしょう。しかし、在校生はその頃七十歳。多分これからは七十歳定年制となるでしょう。生徒諸君が定年退職するその時、「修学旅行には行けなかつたけれど、大間高校は立っているぞ」とお祝いできるよう、しっかりと学校経営をしなければと決意を新たにしていると

活躍の記録

硬式野球部

県秋季大会 むつ地区予選会

第三代表決定戦 対 むつ工業 8-6 勝利(第三代表決定)

※秋季の県大会出場は本校初



県秋季大会

1回戦

対 柏木農業 2-6 敗退



陸上競技部

県新人戦

女子走高跳 第3位 記録155cm 新田凜

県秋季大会

女子走高跳 第4位 記録150cm 新田凜

バレーボール部

地区秋季大会

(大間高・野辺地高合同チームとして参加) 第3位

ラグビーフットボール同好会

第100回全国高等学校

ラグビーフットボール大会青森県予選

1回戦 対 十和田工業 0-90 敗退



柔道部

令和2年度青森県高等学校新人柔道大会

男子 個人ベスト8 伊藤昂生

女子 個人第3位 室舘夢



剣道同好会

県新人戦

女子個人

菊池苺 2回戦 対 八戸西高選手 面一本勝ち

3回戦 対 東義高選手 敗退

吹奏楽部

2020(第26回)日本管楽合奏コンテスト予選審査会

優秀賞

第48回下北地区吹奏楽祭(大間中、奥戸中と合同で出場)

ボランティア活動部

緑の募金活動

赤い羽根共同募金活動

学校周辺ゴミ拾い活動

大間町福祉マップ作成(大間町町民文化祭に出展)



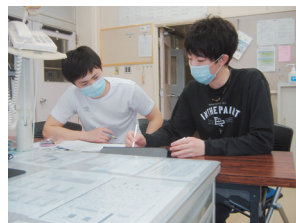
めんちょ活動部

フェリーターミナルでの旗振り活動

オンライン青森夏まつり参加

個別指導・メンター制

大間高校では以前より大学進学を目指す生徒への個別指導を行っておりますが、進学を目指す1・2学年の生徒に対して、家庭学習の習慣を身に付けられるよう担当教員を付け指導を行うメンター制度という取り組みを開始しました。希望の進路実現に向けて努力していますので、生徒の家庭学習も応援していただければと思います。



写真集



1 学年体験型エネルギー学習



総合的な探究の時間



PTA 母親委員会研修会



自衛隊面接練習



学校HP

青森県立大間高等学校



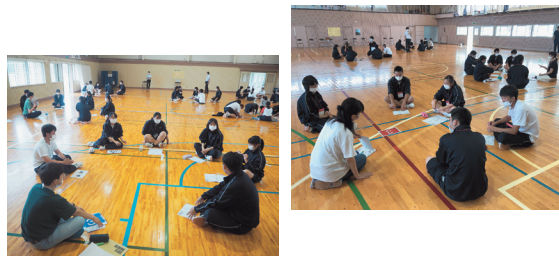
青森県立大間高等学校

CONTENTS ◆行事の様子…P2 ◆日常の様子…P3 ◆活躍の記録 他…P4

日常の様子

9/4 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業

普段接する機会が少ない大学生からの働きをきっかけに、自分の夢を実現しようという気持ちを強くするワークショップです。「Challenge」をテーマに高校や大学での体験談や進路選択について等、生徒たちに近い距離感で語っていただきました。参加した生徒たちからは、「進路について改めて考えるきっかけになった」「大学生のみなさんの体験談を聞いて参考になった」との声があり、今後の高校生活でどんなことに挑戦していくのか楽しみにになりました。



9/6 絵本でつながる大間町プロジェクト



この事業は、「青い森学生読み聞かせ団体ネットワーク」が主催して、大間町においてボランティア活動に興味関心のある中学生・高校生とともに読み聞かせの研修等を通して、地域の小学生や幼児たちとの異世代間交流を促進しようとするものです。

研修後は校内での練習を重ね、大間町の「放課後子ども教室」にて読み聞かせデビューを果たしました。幼児教育等に興味のある生徒はぜひ参加してみましょう。



地域活性化

10/8 高校生模擬議会

1学年を対象としたこのグループワークは、県選挙管理委員会主催事業で、これから有権者となる高校生に県議会を疑似体験してもらうことにより、地域の課題について考え、政治や選挙に対する関心を高めることを目的に行われており、下北地区の高校では本校が初の参加となりました。

実施後、生徒からは「グループの皆で活動することで自分に無い意見が出たり、実現性を重視してうまくまとめられることができた」や「あたためて政治は私たちの生活に関わってくるのだと感じた。」「すぐに解決できなくてもしっかりとこれからのこと、今のことを考え、実行していくことが大切だと気づいた。」などの感想が寄せられました。

生徒たちは、来年の2月に青森県議会の本会議場で政策提言をします。これからも継続して地域や県の課題に向き合っていきますので、励ましやご意見をお寄せください。宜しくお願いします。



11/10 学校魅力化セミナー

大間中学校にて行われた北通り・大畑地区中高連携協議会に続くかたちで、学校魅力化セミナーを、(株)Prima Pinguino 代表取締役・産業能率大学教授・北陸大学客員教授を兼任されている藤岡慎二氏にお越しいただき、「地域ぐるみで進める教育環境づくり」というテーマでご講演いただきました。

学校がなくなることと進んでいく人口減やマイナスの経済波及効果ははかりしれないというお話から、高校の「存続」のためではなく、『生徒が行きたい・保護者が行かせたい・地域も活かしたい』と思える高校の「魅力化」を目指したプロジェクトの多くの実践例を紹介いただきました。

今回の講演会は教職員だけではなく、町村の教育関係者や生徒の保護者、一般の地域住民の方々にもご参加いただきました。参加者からは、「地域の教育を考える機会として有意義なものであった。」や「自治体や町内企業などが協力して一緒にやっていくことが必要だと思った。」等、多くのご意見を賜りました。

大間高校としても魅力ある教育を目指すことはもちろん、子どもたちの未来や地域の発展を地域のみならずと考えていける存在になりたいと考えております。

藤岡氏が最後に紹介した「志を果たしゝに、いつの日にか帰らん」という詩がとても印象的でした。

大間高校も地域の一員として共に発展していけるよう、今後とも尽力して参ります。



行事の様子

9/2 クリーンデー

2学期最初の学校行事はクリーンデーでした。天候にも恵まれ、生徒たちは元気よく地域のゴミ拾いをしてくれました。

アンケートの結果からも生徒たちの美化意識の高まりが窺えました。観光客の方も「来てよかった」と思えるような地域作りをこれからも続けていきたいと考えています。



9/3 体育祭



当日は晴天にも恵まれ、生徒たちはクラス一丸となり競技に励みました。

コロナ対策等のため応援合戦や団旗の作成もできませんでしたが、その分各クラスでそれぞれの競技に力を注いで実施することができました。

急な予定変更にもかかわらず、来場してくださった来賓の皆様、保護者の皆様、温かいご声援ありがとうございました。来年度も元気な生徒たちの姿をみせたいと切実に思いました。

10/5 芸術鑑賞教室

3年に1度の芸術鑑賞教室。今回は東京演劇集団『風』の皆さんによる「ヘレン・ケラー〜ひびき合う者たち」の演劇でした。

早朝より体育館に立派な舞台を設置し、熱のある演技をしてくださいました。

生徒たちの観劇態度も素晴らしく、校長先生がお話したように劇団の皆さんと一緒に舞台を作り上げることができたのではないかと感じました。

生徒たちには普段経験のできないことから何かひとつでも学びや気づきの発見をしてほしいと考えています。



10/23 選挙出前講座

成人年齢引き下げにより、選挙権をもっている生徒もいるなか、高校生の主権者としての意識を高めるために実施いたしました。

講師には県選挙管理委員会事務局から佐々木太地主事をお招きし、投票の制度や方法、選挙運動や選挙制度のほか、選挙の重要性についてお話をしていただきました。

選挙は民主政治を支える基盤となるものですので、生徒たちには今後も学習を重ねて、公民として社会を支えて行くことを期待しています。



生徒会役員選挙

生徒会役員への立候補者と応援者が演説を行いました。それぞれに目指す学校像を語り、だれが役員になっても生徒会として学校を盛り上げてくれそうな説得力のある演説で、生徒たちも真剣に聞いていました。そして生徒会長には2学年の柴垣銀次君が選ばれ、「生徒ひとりひとりが活躍できる場をつくっていききたい。」と意気込みを語っています。

